

新しい年を迎えるにあって

学園長 佐藤敬二

園員ならびに関係者の皆さまにおかれましては、すこやかに新しい年をお迎えのことと存じます。本学園も皆さまからのご支援のおかげで、コロナ禍での受講者の減少もあるものの、新しい年には諸事業を前向きに進めていきたいと考えているところです。

二〇一九年以来、コロナ禍が長期化する中で、皆さまも様々な困難に直面されているのではないかと推察いたします。自らの働く環境や周囲の条件が変わられた方も多いことでしょう。その中で、あらためて「学び」が必要となっているのではないかと思います。それは、自らのキャリアアップや教養を深めるためという意味においてもですが、コロナ禍で進んだ様々な事態への対処のためでもあります。

たとえば、「コロナハラスメント」と呼ばれる事態が広がっています。厚生労働省や地方自治体が啓発活動を行っており、京都府も「NO コロナハラスメント」啓発キャンペーン等を実施され、京都市も新型コロナウイルス感染症に係る人権への配慮を求める取り組みを進めておられます。コロナハラスメントの起こる原因は何で、現在の制度がどうなっており、今後いかなる対処がされるべきか、さらには、法制整備の課題など、学ぶべき点はいろいろとあります。オンラインやリモートでの勤務が増えたことによる様々な問題、たとえばメンタルヘルスへの対応や技術的側面への対処なども、学んでいくべき点ではないでしょうか。

本学園は、昼間に府市民教室、夜間に京都労働学校を開講しています。更に、英会話教室やパソコン教室などのスキルアップ講座や、より短期でのセミナーも開催しています。ここでは、府市民の皆さんの基本的な関心事に即した講座を開講するとともに、現在問題となっている事項についての講座も開講しています。二〇二二年度秋期の講座を例にとると、フリーランスの経理・経営、中小企業に対する労働法、ストレスマネジメントなどが挙げられますし、セミナーとしてはコロナ禍でのメンタルヘルス、家庭と仕事の両立、などを開講しています。外国語の教室でも、近年希望者の多い「韓国語」の教室を充実したり、コロナ前に多くの外国人観光客の方たちが京都にいらっしゃっていた際には、観光案内用の英会話教室を開いていましたし、パソコン教室でも、コロナ禍のもとで増えたオンライン勤務への対応などの講座を開いています。京都府ならびに京都市からご支援いただいているため、料金も安価なものとなっています。皆さまからも、必要な講座のご提案をお願いします。

これらの講座を開講するにあたって、消毒の徹底、パーティションの設置、オンライン受講の環境整備など、コロナ対策を進めてまいりました。財政的には大きな出費となりましたが、他方で、京都府北部の方や、京都市内でも様々な事情により四条御前の教室まで足を運ぶのが困難な方なども、受講できる環境が整いました。対面とオンラインの両方で受講が可能なハイブリッドな開講形態をとる講座も増やしています。新しい年を迎えて、新しい学びへと進むことをご検討ください。また、周りの方へ勧めていただきますようお願いいたします。

末尾になりましたが、皆さまにとって実り多い一年となることを願っております。